

①

現認(事實)証明書

本籍

部隊名 独歩五回大隊

上等兵

一 死之年月日

昭和二年八月 日(土)

一 死之場所

比島カハヤン部落山中

一 死之原因

戦死

一 當時の状況

約一分隊を部隊より約二軒離したる処に合宿ト

トテ堀立小屋を作り守備シテリタル処敵ノ奇襲ヲ合

ヒ全滅ス(外ノ兵隊ノ名ハ記憶セズ)

右ノ通(証明)ス

昭和二年八月三日

元 独歩五回大隊

陸軍上等兵

②

陸軍

死亡現認證明書

本籍地

西屬部隊 威第一八二〇部隊

軍屬(月俸三吾円)

右者威第一八二〇部隊 主計少尉(消息不明)直接

部下トシ戰闘任務ニ從事中昭和二十年八月十日比島

町シナ才島クライン(久才市南方約二〇〇軒山中)ニ於テ

敵ト交戦中胸部貫通銃創ニ依リ戦死セリ

右隊長 [redacted] 主計少尉ニ代リ現認ス

昭和二十一年十一月二十五日

現任所

西屬部隊 威第一八二〇部隊

軍屬

死亡現認書 昭和 年 月 日

死者	本籍地	[Redacted]
	現住所	右同
	所属部隊名	南支隊第十陸軍病院
	氏名(姓氏名)	陸軍衛官徳重 [Redacted]
	死亡年月日時	昭和三年八月廿五日午後三時 (現認甲)
	死亡場所	南支隊第十陸軍病院 (現認甲)
死亡原因	死亡事由	腹効毒薬銃創
	發病年月日	
遺体、遺留品の状況		

右現認す

現認者 本居地 [Redacted]
 現住所 右同
 死没者との関係 戦友
 所属部隊 南支隊第十陸軍病院
 元職官氏名印 陸軍衛官徳重 [Redacted]

記載上の注意

1. 姓は印(直貫)、乙(横貫)、丙(縦はしりもの)の区分で記入する
2. 死亡事由欄には何れも共通読解、或は「キリ」等の病名を記入する
3. 死没者との関係は中、小隊長、分隊長、親友等記入する

南支隊第十陸軍病院

第三大第三第銃開機文施

部二五六七一

歩 補

昭和二十二年 四月十九日

西川 部 独立機関銃第三大隊第三中隊

一等 級 伍 長

外 上 木 之 山 師 団 隊 友

任

名

[Redacted Name]

[Redacted Name]

[Redacted Name]

[Redacted Name]

文

[Redacted Name]

歿 死

同 上

機 関 銃

名 稱

機 関 銃 甲 四 〇 料

昭 和 二 〇 二 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日 東 花 芳 機 関 銃 甲 四 〇 料

機 関 銃 甲 四 〇 料

機 関 銃

名 稱

機 関 銃 甲 四 〇 料

の 状 況

戦死証明書

一、戦死者姓名

戸主名 姓 氏名

氏名

年 月 日生

二、所属

三、戦死者徴集年 昭和 年 徴集年月日 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和 年 月 日 時刻 場所

五、戦死現因ノ程度

六、遺骨跡等ノ有無

七、戦死當時ノ状況ノ説明

八、死亡原因

九、其ノ他

十、遺族ノ現在所

氏名

有リ通リ戦死セラルタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

署名者住所

署名者自署

所属部隊名

氏名

施設長印

施設長 姓名

施設長 住所

死亡確認書

隊中一第兵時臨		昭		那		所	
四四九二		成		隊		屬	
				兵		任	
				種		官	
		二第		生		級	
		夜		前		(明)	
						名	
						(ナガ)	
						日	
						年	
						生	
						本	
						籍	
						地	
						留	
						守	
						担	
						掌	
						者	
						死	
						亡	
						状	
						況	
						遺	
						遺	
						留	
						品	
						骨	

右 昭
 和 二
 年 二
 月 十
 五 日
 日 前 所 屬 部 隊 臨 時 考 兵 第 一 中 隊
 旧 官 等 級 伍 長
 死 亡 者 之 親 戚 友
 現 任 所 姓 氏 名
 氏 名

右原本之明遺すといふ証明する

地方生活部長

9-13

狀況不明者の資料届
本籍地

上等兵

所居部隊固有名第一三師団工兵隊

通稱号 據 〇三八三部隊

昭和三年四月より開始せし大島ミシタ才島作戦に傳令として参陣中昭和三年八月十日のミシタ才島ハシタに於て敵重迫撃砲の集中を受け直撃手により全身被創十時十五分壯烈なる戦死を遂ぐ遺骨取得不能 遺留品なし

據 〇三八三部隊 直計少尉

状況不明者の資料編

本籍地

一等兵

所属部隊 固有名 第一三〇〇輜重隊

通稱 駭第一〇六〇七部隊

昭和三年六月十九日 マニラ上陸 昭和三年六月 功之隊 隊に編入

七月 シンボーン附近より 砲撃せられ ロックロード 砲台に機銃掃射を蒙

賞せらる 此の戦い開始 昭和三年八月五日 打アゲン 附近の戦いに終

て 胸部貫通 創傷 戦死す

九河 武装解除後 カリ 敗者所より 荷物の板破 其の他 物品 全部 焼却

せられ 遺留品 なし

駭第一〇六〇七部隊 元 一等兵

23

中華民國二十一年七月

本籍

確証書

浙南部隊

戰線情形

戰線情形

比島

比島

比島

左者指北元年六月十五日由本部隊八部隊之友在同年七月

十五日由本部隊八部隊之友在同年七月

和和年八月十五日目前地情形

和和年八月十五日目前地情形

和和年八月十五日目前地情形

和和年八月十五日目前地情形

和和年八月十五日目前地情形

和和年八月十五日目前地情形

和和年八月十五日目前地情形

血

2007年11月
25日

未

本表は中略の印以外は第一世願書にて記入すること
不備事項は明記するものなり(記号上の注意も一併記入して記入の事)

氏名	性別	生年	生月	生日	死亡年月日	死亡原因	死亡場所	死亡直前の職業	遺体遺留の状況	埋葬場所	埋葬年月日	埋葬場所	埋葬年月日	備考
山本 太郎	男	昭和10年	11月	15日	昭和32年	肺炎	自宅	無職	遺体遺留	山本家	昭和32年	11月	15日	山本家
山本 次郎	男	昭和15年	11月	20日	昭和35年	交通事故	山本家	無職	遺体遺留	山本家	昭和35年	11月	20日	山本家
山本 三郎	男	昭和20年	11月	25日	昭和38年	肺炎	山本家	無職	遺体遺留	山本家	昭和38年	11月	25日	山本家

死亡者調査表

昭和三十三年

月

日

山本家

山本家

昭和三十三年

月

日

山本家

山本家

山本家

山本家

山本家

山本家

山本家

山本家

山本家

事失(現認)證明書

固有部隊名 滿鐵駐丹江省安東滿洲第一八部隊司令部

通稱別名 比島激進隊第一八部隊司令部

陸軍砲兵兵長 [Redacted]

本籍地 [Redacted]

現任地 全 [Redacted]

右、昭和二十一年(一月一日)午杏橋町吹心之島

1121附近、於此、[Redacted] 砲彈、[Redacted] 斃死、[Redacted]

証非不

昭和二十三年四月一日

滿鐵駐丹江省安東滿洲第一八部隊司令部

比島激進隊第一八部隊司令部

本籍地 [Redacted]

陸軍砲兵兵長 [Redacted]

氏現本 位將現 名所地認 證明書

所屬部隊 昭和二十一年 陸軍 陸軍 兵長

一 徵集後種籍 昭和十八年 徵集現役 步兵
一 死亡年月日 昭和廿年八月十二日
一 死亡場所 石川縣 石川市 九ツ井
一 死亡区分 戦死
一 姓名 長谷川 長

現認事
右は方四中队に属し、石川市九ツ井中隊
隊長 長谷川 大助 部首長 銃剣之隊 長 藤
春中 昭和廿年八月十二日 石川市 九ツ井
隊にて死せしものを

一 遺骨の有無 無
一 遺族の住所 石川市 九ツ井
右相違 無
現認者 官守 級 兵長
所屬部隊 昭和二十一年 陸軍 陸軍 兵長

昭和二十一年十月二日

11-10

死亡者親認證明書

本籍地

現住地

部隊名

氏名

一 死亡年月日

一 死亡場所

一 死亡事由

一 発露年月日

一 発露名

如の通り對死したる事を現認す

[Redacted]

比員米遺第3師團野砲隊第4中隊

陸軍上等兵

昭和三年身命十二月二日午前八時頃

ミンダナオ島ダバオ少ヤン

金身被下爆彈破片創により死す

昭和三年(作)三月三日

金身被下爆彈破片創

現認者

本籍地

現住地

部隊名

氏名

[Redacted]

比員米遺第3師團野砲隊第4中隊

陸軍上等兵

現認書

第十四特設野戦飛行場設定隊陸軍軍曹

右、昭和二十年八月十三日比島ルン島山岳洲才三ノ大岩(山小屋)

ニ於テ歿死ス

右現認ス

昭和二十一年三月十五日

元第十四特設野戦飛行場設定隊

元陸軍主計大尉

尚野曹長進級公算十四方面軍副官部ヲ命令ス

現認(事實)證明書

84-12

本籍地 [Redacted]
所属部隊 固有名 五五九部隊 通稱名 一七六部隊
徴集年 昭和二十年 役種 兵種 上等兵
官等 昭和二十年三月一日 發令武名 [Redacted]

- 一、死亡年月日時分 昭和二十年八月十三日午後三時二十分
- 二、死亡區分及傷病名 病死(肺炎)
- 三、死亡場所 五五九部隊司令部
- 四、死亡狀况 死前四月位、食糧給与不足、木炭不足、
事務食料不足、口粮不足、精神衰弱、
土葬、同日埋葬あり
- 五、遺骨及遺品の有無 遺骨(財布)印被進駐軍(遺棄)あり
- 六、死亡に関する書類の有無 書類なし

右の通り相違ない事を證明する

昭和二十二年六月十四日 元所属部隊(固有名)五五九部隊
(通稱名)一七六部隊

現住所 [Redacted]
遺囑書等氏名 [Redacted]

- 一、死亡者本籍地 [Redacted]
- 二、住所(遺囑書)の氏名 [Redacted]

右の通り相違ないことを證明する

昭和二十二年六月十八日

[Redacted]



現認證明書

陸軍

一 部隊名 独歩五務国司部 威七二〇三部隊

一 死亡前階級及姓名 陸軍兵長

一 死亡年月日 昭和二年八月十三日 午前四時

一 傷痕 名 大腸炎

一 昭和二年八月十三日 午前四時 比島北ノ島トソカニ地区ニ於テ

數名死セリト確認す

右證明す

昭和二年 二月十日

現認者

元威七二〇四部隊

元兵長